



大阪油化工業株式会社

2023年9月期 決算説明資料



東証スタンダード
証券コード:4124

2023年11月9日

1

2023年9月期決算概要

P.03

2

2024年9月期業績予想

P.10

3

トピックス

P.15



1. 2023年9月期決算概要

連結

売上高

1,235百万円

前期比4.7%増

期初予想比1.2%減

営業利益

115百万円

前期比16.1%減

期初予想比23.1%減

- ◆ 売上高については、受託蒸留事業は前年実績を下回りましたが、プラント事業は前年実績を上回って推移したため、全体では前期比4.7%の増収となっております。
- ◆ 営業利益については、エネルギーコスト高や材料費の高騰等による影響に加え、将来にわたる事業成長と持続的な企業価値向上に向けた人的資本投資に伴い、前期比16.1%の減益となっております。
- ◆ 期初予想に対しては、売上高はほぼ計画どおり、営業利益は想定を上回るエネルギーコスト高や材料費の高騰等により未達。

受託蒸留事業

売上高

1,088百万円

前期比**2.2%**減

プラント事業

売上高

246百万円（※）

前期比**90.0%**増

※ プラント事業セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高99百万円を含んでおります。

- ◆ 受託蒸留事業の売上高実績に関する内訳は、
研究開発支援 売上高268百万円（22/9期実績：218百万円）
受託加工 売上高820百万円（22/9期実績：894百万円）
研究開発支援において、ファインケミカルに関わる試験蒸留の引き合い好調により増収となったものの、受託加工において、一部の主要顧客との取引縮小等が生じたことにより減収となったため、事業全体では前期比2.2%の減収。
- ◆ プラント事業については、蒸留装置の工事・メンテナンスの実施及びろ過装置の安定的な受注により、前期比90.0%の増収。

- ◆ 売上高に関して、前ページに記載のとおりです。
- ◆ 売上原価に関して、エネルギーコスト高や材料費の高騰による影響を受けたことにより、前期比増加。
- ◆ 販管費に関して、当社グループの将来にわたる事業成長と持続的な企業価値向上に向けた人的資本投資に伴い、前期比増加。
- ◆ 特別損失に関して、既存の連続式蒸留装置の除却及び連結子会社カイコーに係るのれん及び顧客関連資産の減損損失を計上。

(単位：百万円)	2022年9月期	構成比 (%)	2023年9月期	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	1,180	100.0	1,235	100.0	4.7
売上原価	640	54.3	689	55.8	7.6
売上総利益	539	45.7	545	44.2	1.1
販売費及び一般管理費	401	34.1	429	34.8	7.0
営業利益	137	11.6	115	9.3	▲16.1
経常利益	140	11.9	110	9.0	▲20.8
特別損失	-	-	△118	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益 又は当期純損失 (△)	88	7.5	△8	▲0.7	-
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)(円)	83.24	-	△8.38	-	-

- ◆ 既存の連続式蒸留装置の除却、連結子会社カイコーに係るのれん及び顧客関連資産の減損損失により、固定資産が減少。
- ◆ 未払費用及び未払法人税等の減少などにより、流動負債が減少。

(単位：百万円)		2022年9月期	2023年9月期	増減
流動資産		1,072	1,051	▲21
	現金預金	801	814	12
	売上債権	119	95	▲23
	棚卸資産	119	86	▲32
	その他	32	54	22
固定資産		985	839	▲146
総資産		2,058	1,890	▲167
流動負債		230	145	▲85
固定負債		14	7	▲7
純資産		1,813	1,738	▲75
負債純資産合計		2,058	1,890	▲167
自己資本比率		88.1%	92.0%	+3.9pt.

- ◆ 営業CF及び投資CFは、ほぼ前年並み。
(営業CFのその他は、売上債権及び棚卸資産等の減少による。)
- ◆ 自己株式の取得により、財務CFは支出増加。

(単位：百万円)	2022年9月期	2023年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	218	210	▲7
税金等調整前当期純利益又は当期純損失(△)	140	△4	▲144
減価償却費	141	126	▲14
減損損失	－	53	53
その他	0	101	101
法人税等の支払額	△62	△66	▲3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106	△112	▲5
有形固定資産の取得による支出	△106	△110	▲3
その他	0	△1	▲1
フリーキャッシュ・フロー	112	98	▲13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26	△85	▲59
自己株式の取得による支出	－	△59	▲59
配当金の支払額	△26	△26	▲0
現金及び現金同等物の期末残高	801	814	12

- ◆ お問い合わせ件数は、半導体・電子材料メーカーにおける在庫調整や設備投資の抑制の影響もあり、前期比で減少したものの、ファインケミカルに関連する蒸留案件を中心に、新規受注件数は前年並みを維持。
- ◆ お問い合わせから新規受注に至った成約率は約50%。
- ◆ なお、当社の取引先は約100社。
うち、国内外上場企業（グループ会社を含む）が約90%を占める。

(単位：件)	2021/9期	2022/9期	2023/9期
お問い合わせ件数	147	123	96
新規受注件数	55	49	45



2. 2024年9月期業績予想

連結

売上高	1,240百万円 前期比0.4%増	営業利益	70百万円 前期比39.3%減
-----	----------------------	------	--------------------

- ◆ 売上高については、受託蒸留事業において一部の主要顧客との取引縮小による影響が生じるものの、プラント事業において自社オリジナル装置の拡販により、前期比0.4%の増収を見込む。
- ◆ 営業利益については、プラント事業の業容拡大に伴い、当社グループの売上高全体に占めるプラント事業の割合が大きくなることで、相対的に利益率の低下が見込まれるため、39.3%の減益を見込む。

受託蒸留事業

売上高

1,020百万円

前期比6.3%減

プラント事業

売上高

220百万円

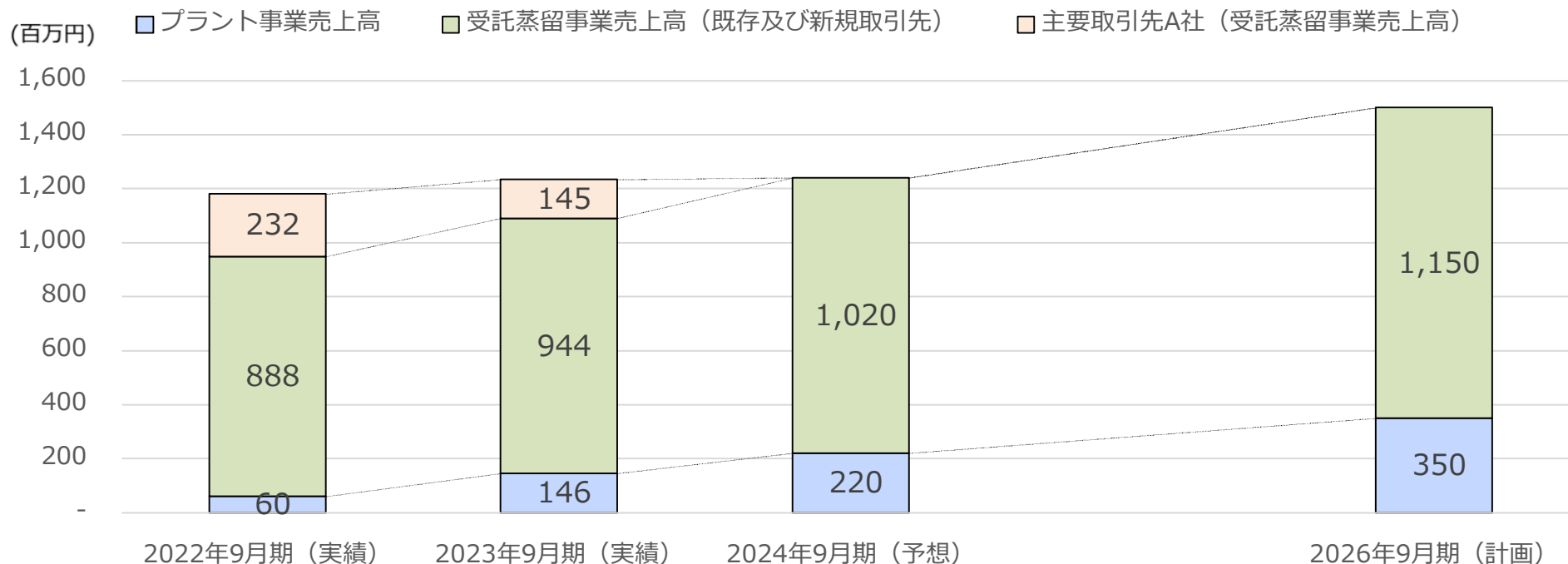
前期比50.7%増

※ 各セグメントの売上高予想には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおりません。

- ◆ 受託蒸留事業の売上高予想に関する内訳は、
研究開発支援 売上高270百万円（23/9期実績：268百万円）
受託加工 売上高750百万円（23/9期実績：820百万円）
一部の主要顧客との取引縮小による影響を踏まえ、減収を見込む。
- ◆ プラント事業については、蒸留装置及びろ過装置の新規引き合いが着実に増加しており、大幅な増収を見込む。

セグメント別売上高（目標）推移

※各セグメントの売上高（目標）には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおりません。



【主要取引先A社との取引額の減少について】

（過去） 主要取引先A社とは長期にわたりお取引をいただき、堅調に増加してきた結果、最盛期には連結売上高の約2割を占めていた。

（現状） 2022年9月期と比較して、2023年9月期は取引額がほぼ半減しており、最終ユーザーの需要が急減したものと推測。

（今後） 2024年9月期については、将来の見通しが不明なため、保守的に取引額を見込んでいない。

【今後の計画について】

- ・受託蒸留事業において新規案件の獲得を目指すとともに、プラント事業の伸長によりグループ全体での成長を目指す。
- ・プラント事業の業容拡大に伴い、当社グループの売上高全体に占めるプラント事業の割合が大きくなることで、一時的に利益率の低下が見込まれるが、当社ではプラント事業は市場の成長性が高く、中長期的にはグループ全体の成長を牽引するものと考えており、新たな中期経営計画(2024年9月期～2026年9月期)の最終年度において、取引減少前の水準を超える利益額を目指していく。

【配当政策】

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対する適切な利益還元を実施していくことを基本方針としております。

	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期 (予想)
1株当たり配当金	25.0円	35.0円	35.0円
配当性向	30.0%	-	72.5%

- ◆ 2023年9月期における配当については、より積極的な株主様への還元を実施するため当初予想の25円から10円増額し、1株当たり35円といたしました。
- ◆ 2024年9月期における配当についても、1株当たり35円を見込んでおります。
- ◆ なお、中期経営計画期間（2024年9月期～2026年9月期）の配当について、1株あたり35円を下限とし、今後も安定的な配当を実施していく方針です。








3. トピックス

- ◆ 2023年7月5日（水）～7月7日（金）に第17回国際医薬品原料展（インファーマジャパン）に出展いたしました。当社の受託蒸留事業及びプラント事業のPRを実施し、多数のお問い合わせをいただいております。



- ◆ 2023年7月18日に、当社としては約3年半ぶりの個人投資家様向け会社説明会を開催し、当日は多数の投資家様がオンライン説明会をご視聴されました。同説明会後のアンケートでは、概ね好評をいただきました。
- ◆ 今後も当社の認知度向上や事業に対する理解を深めていただけるよう、IRの充実を図ってまいります。なお、各説明会の動画は当社のホームページ（IRニュース）よりご覧いただけます。

>全て	>適時開示	>決算短信	>有報	>IR資料	>お知らせ
西暦を選択してください 					
IR資料	2023.07.19	2023年9月期	個人投資家様向け会社説明会動画 		
IR資料	2023.07.19	2023年9月期	個人投資家様向け会社説明会 質疑応答 		
IR資料	2023.07.19	2023年9月期	個人投資家様向け会社説明会資料 		
IR資料	2023.05.11	2023年9月期	第2四半期決算説明資料 		
IR資料	2022.12.23	コーポレート・ガバナンスに関する報告書	2022/12/23 		



技術と経験を武器にプロジェクトを完遂する、
精密蒸留専門化学メーカー



〈お問い合わせ先〉

業務部 経営企画チーム

TEL : 072-861-5322

MAIL : cp@osaka-yuka.co.jp

URL : <https://www.osaka-yuka.co.jp/>

〈本資料取扱上の注意点〉

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動する可能性があります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載している将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。